

平成 30 年度 依存症民間団体支援事業報告

団体名 NP0 法人 全国ギャンブル依存症家族の会

事業名 家族会立ち上げ事業

<活動内容の概要>

ギャンブル依存症問題に苦しむ家族のために、相談機能を兼ね備えた「家族会」を立ち上げることをめざした。

私たち全国ギャンブル依存症家族の会は、東京都、大阪府など15の県（2018年当時）において活動しているが、自助グループの活動が活発なところに偏っている。

そこで家族会がない県に、既存の家族会メンバーが月1回出向いて家族会を運営し、将来的には現地のメンバーが自立して家族会を開催できるようレクチャーした。

2018年度は東北（青森）、山陰（鳥取）、中国（岡山）地方の3県で活動。

最終的には全国47都道府県すべてに家族会が立ち上がることを目標としている。

私たちの強みは、自分たち自身が「ギャンブル依存症に苦しむ家族」であったことであり、それを乗り越えてきた経験・対応法を共有し、財産としている。

今苦しんでいる家族の方々を支援するために、この経験を活かしたい。

【事業内容】

- (1) ギャンブルの問題に苦しむ家族のための「家族会」の開催
- (2) ギャンブル依存症の正しい知識や対応法を伝える「ミニセミナー」の実施
- (3) 地域の行政、医療、福祉、司法などの関係者に広報し、連携づくりを行い、困っている家族をつなげてもらう

【実施回数】

- (1) 家族の会 各 6 回

青森・鳥取・岡山（2018 年 10 月、11 月、12 月、2019 年 1 月、2 月、3 月）

- (2) ギャンブル依存症ミニセミナー 各 1 回

青森 2019 年 2 月 10 日（日）

鳥取 2018 年 11 月 23 日（祝）

岡山 2019 年 2 月 23 日（土）

- (3) 広報活動 各 6 回

青森・鳥取・岡山（2018 年 10 月、11 月、12 月、2019 年 1 月、2 月、3 月）

＜事業の成果＞

どの県でも、困っていた家族の方が多数参加してくださった。

「これまで誰にも相談できなかった」「借金の問題が発覚し、途方に暮れている」

「ギャンブルをやめようとしめない家族にどう対処したらいいのか」など、

ご自分の悩みを話され、同じ苦しみをもつ人の話に耳を傾けていた。

お渡しした依存症のパンフレットやガイドブックなども真剣に学んでいらしかった。

具体的な悩みに対しては、他県から参加した既存の家族会メンバーが経験を分かち合い、対処法をお伝えすることができた。

悩んでいたけれど気持ちが少し軽くなったと笑顔で帰られる方もいた。

継続して参加された方は、いろいろと学ぶうちに

ギャンブルの問題のある当事者への対応を変えることができるようになり、

それが当事者の回復にもつながっていくことを実感していただいた。

(1) 家族会立ち上げ

◆立ち上げのサポートを行った結果、「青森」「岡山」では家族会が立ち上がった。

家族会につながったご家族が、家族会の必要性を実感し、2019年4月以降、
現地のメンバーによる家族会が開催されることになった。

◆「岡山」では家族の自助グループ「ギャマノン」も立ち上がった。

◆「鳥取」も現地メンバーによる家族会立ち上げまで、あと一歩のところである。

(2) ギャンブル依存症ミニセミナー

◆ギャンブル依存症の正しい知識や対処法を伝えることができた。

地域での予防教育、啓発が促進された。

(公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会代表の田中紀子氏が講演)

◆ギャンブルの問題で困っている家族が、家族会につながるきっかけになった。

◆各県で依存症問題に尽力されている精神科医の先生に講演いただき、
地域での依存症の実態や回復支援などについて話していただいた。

◆地域の支援者たちも参加してくださったので、お声をかけて、みなさんの前で
ご挨拶いただいたりして連携を深めることができた。

(3) 広報活動

◆各県の精神保健福祉センターや行政機関、依存症に取り組む病院、社会福祉協議
会、弁護士（法テラス）・司法書士、消費者センターなどに出向き、ギャンブル依

存症の家族会を立ち上げることを広報したところ、歓迎していただいた。今までギャンブル依存症で困っている人がいても、つなげることのできる地域の資源がなかったとのこと。今後も連携していただくことをお願いした。

- ◆どの県でも、長く活動が続けている依存症支援の民間団体や自助グループ（ダルク、断酒会、AA、NAなど）や薬物依存の家族会などが手をさしのべてくれ、サポートしてくださった。
- ◆ギャンブル依存症当事者を支援する受け皿がないという声が多く聞かれ、次年度の課題は当事者のデモミューティングの実施であることがわかった。
- ◆各地の新聞社に広報し、家族会の活動の取材、セミナーの告知をしていただいた。

団体ホームページへのリンク

NP0 法人 全国ギャンブル依存症家族の会

<http://gdfam.org/>



家族会の様子



広報活動で行政や医療、司法などをまわる



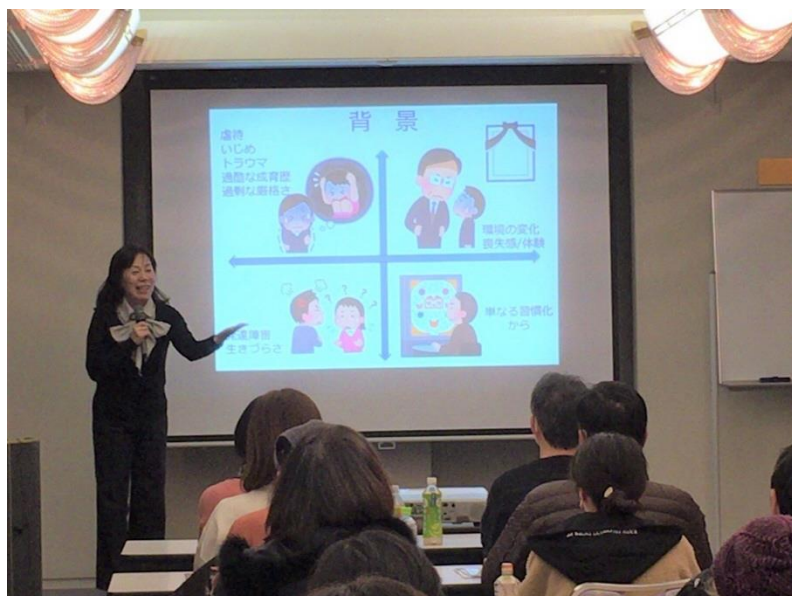
県の障害福祉課などにも連携のお願いをする



消費生活情報提供コーナーなどにチラシやパンフレットを置かせていただいた



ギャンブル依存症セミナーには多数の方が参加



セミナー内容はギャンブル依存症の基礎知識など